

平成30年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	協伸クラブ
出席者	輿石賢一・山本雄次・木内吉英
事業名	ペーパーレス議会の概要について
事業区分	①研究研修 ②調査

1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

本市においては、平成29年2月より、議会運営に関する研究会の第2班で、「議会のペーパーレス化」をテーマにした検討を行っている。
ペーパーレス会議の導入をしている袋井市で研修を行い、研究をする。

2. 実施概要

実施日時	平成31年2月13日(水) 10:00~12:00
視察先	袋井市役所
担当部局	議会事務局
報告内容	<p>1. 袋井市の概要</p> <p>袋井市は、静岡県の西部に位置し、旧袋井市、旧浅羽町の1市1町が平成17年4月1日に合併し、現在の形成をなしている。</p> <p>東海道新幹線・東海道本線・東名高速道路・国道1号・国道150号など主要交通路が横断し、東京へは240km、大阪へも320kmと交通条件に恵まれており、豊かに広がる田園地帯と美しい茶畑、さらには太田川や原野谷川、南には遠州灘と、自然環境にも恵まれ、極めて平坦な地域が広がり、土地利用もしやすい条件が整っている。</p> <p>太平洋に面し、気候は温暖多雨の太平洋岸式気候で、夏は高温多湿で、冬は低温で乾燥した晴れの日が多く、この地域独特の「遠州の空っ風」と呼ばれる寒風が吹き、実際の気温より寒く感じられる。また、全国の中でも日照時間が長い地域であり、年平均気温も16度~17度と1年を通じて快適な環境である。</p> <p>平成30年4月1日現在、人口は87,938人で、世帯数は33,937世帯となっている。また、平成26年の出生率は10.8人(人口千人当たり)、平成27年の高齢化率は22.4%、平均年齢は43.9歳で「若いまち」と言われている。</p>
	<p>2. 「ペーパーレス会議導入」までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議場の改修に合わせ、議会のペーパーレス会議導入について検討(H27.6) ・ペーパーレス会議の先進地視察(H27.10) ・議会運営委員会において、導入に向けた具体的な検討を開始(H28.9) ・議員に対するアンケート調査を実施(H28.9) ・経費削減効果について財政課との協議、費用対効果の検討(H28.10~12)

<p>報告内容</p>	<p>3.「ペーパーレス会議導入」に向けた取り組み</p> <p>①ペーパーレス化に伴う影響度の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会側、当局側の想定している範囲を確認。 ・資料の作り方や議会運営の進め方の確認。 ・実際に導入している先進地を共同で視察し共有化を行う。 <p>②会議システムの選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋井市では当局が先行して幹部会議でペーパーレス会議システムを導入。 ・当局側が使用しているのは「会議システム」であり「文書管理システム」を兼ねていない。 ・庁内サーバーには議員がアクセスできないので会議システムは議員側、当局側の別サーバーで登録する。 ・議会独自で会議システムを選定。 <p>③通信環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスポイントを議場や委員会室に設置。 ・映像配信、最大50台のインターネットアクセスに耐えうる回線の整備。 <p>④ペーパーレス化の範囲の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会に関する資料、書類の洗い出し。 ・予算書、決算書まで全てをペーパーレス化するのか検討。 <p>⑤端末機の電源確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員側、当局側双方におけるパソコンの電源確保対策が必要。 ・議場、委員会室に電源を増設。
<p>感想（まとめ）</p> <p>・市政に活かせること</p>	<p>4・考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）</p> <p>議会のペーパーレス化を取り入れるため、班会において、逗子市へのペーパーレス研修を基にした意見交換、全議員へのアンケート調査、ペーパーレス化のメリット・デメリットの研究、コスト削減の専門機関での検証、平成29年6月議会からの議場での電子機器使用の許可、富士川町への視察、議場でのタブレット議会のデモ等、さまざまな検討がなされ、電子化へ移行すべきとなった。</p> <p>議会と執行部との協議も進行しているが、本格的な導入に向け、袋井市での研修を参考にし、推し進めるべきと考える。</p> 